

早稲田大学・テムザック・村田製作所・SRE ホールディングスによる新団体
「KyoHA（京都ヒューマノイドアソシエーション）」設立
～日本発・純国産ヒューマノイドロボット開発へ～

早稲田大学
株式会社テムザック
株式会社村田製作所
SRE ホールディングス株式会社
2025 年 6 月 30 日

2025 年 7 月、早稲田大学、株式会社テムザック、株式会社村田製作所、SRE ホールディングス株式会社は、日本のヒューマノイドロボット産業の再興を目指す新団体「KyoHA（京都ヒューマノイドアソシエーション）」を設立します。日本の高度なハードウェア技術を結集し、純国産のヒューマノイドロボット開発を推進することで、日本のロボット開発競争力を高めていきます。

■設立の背景

近年、米国の巨大テック企業や、中国の IT・EV・ロボット企業を中心に、ヒューマノイドロボット開発が急速に進展しています。日本はかつてのロボット先進国としての存在感を示していかなければなりません。

加えて、日本国内では自然災害や労働力不足といった社会課題が深刻化しており、ロボティクス技術への期待が高まっています。特に、人間に近い動作性能を持ち、極限環境下でも活動可能な「ヒューマノイドロボット」は、次世代の機械システムとして注目されています。

しかし、AI やソフトウェアの進化が進む中で、ハードウェア領域における国産開発体制や産業としての統合的な取り組みは未整備の状況です。こうした課題を打破すべく、モノづくりの都・京都にて、日本の技術力を結集する新たな産業連携の枠組みとして「KyoHA」が誕生します。

■活動目的と内容

KyoHA は、以下の 5 つの柱を中心に活動を展開します。

1. ハードウェア開発の国産連携体制構築

精密部品、アクチュエーター、センサー、油圧制御など、日本が誇る高度な技術を連携させ、ヒューマノイドロボットのハードウェア開発に特化した産学連携ネットワークを構築します。

2. 第1フェーズ：レスキューロボットの開発

災害現場や崩落現場など、過酷な環境下で人命救助・災害対応を担うヒューマノイドロボットの実装を目指し、社会課題の解決と技術検証を両立させます。

3. 京都を中核としたサプライチェーン構築

製造・試作・検証・導入までを見据えた国産サプライチェーンの再設計を行い、持続可能な産業基盤を京都から構築します。

4. 経済的波及効果と産業競争力の強化

ヒューマノイドの普及は多様な業種との連携を促進し、国内外における日本の産業競争力を強化します。

5. ソフトウェア・AIとの連携による価値最大化

ハードと連携するAIや制御技術の進化により、柔軟で賢く動けるヒューマノイドの実現を目指します。

■今後の展開と設立メンバー

本団体は2025年中に一般社団法人として設立を行い、2026年度内には第1弾の開発・実装に向けた具体的施策を発表予定です。

現在、以下の企業・機関が設立メンバーとして参画しています。

- 早稲田大学
- 株式会社テムザック
- 株式会社村田製作所
- SREホールディングス株式会社

加えて、多数の企業・団体との連携に向けた対話が進行中です。産業界・学術界を横断する“ヒューマノイドのための日本連合”として、広く参画を募ってまいります。

■理事紹介（設立時）

●理事長：早稲田大学

創造理工学部 総合機械工学科 教授 高西 淳夫（たかにし あつお）

早稲田大学ヒューマノイド研究所所長／IEEE フェロー／日本ロボット学会フェロー
／日本機械学会フェロー

早稲田大学機械工学科卒業・同理工学研究科修士・博士課程を経て同工学博士取得、助手・専任講師・助教授を経て現職。2足歩行ヒューマノイドをはじめ多くのヒューマノイドの研究開発に従事、国内外の大学や企業との共同研究も多く、社会実装例も多

数。元日本ロボット学会会長。

●株式会社テムザック

代表取締役議長 高本 陽一（たかもと よういち）

神奈川大学法学部卒業後、産業機械製造会社に入社。1993年からロボット開発をはじめ、2000年、テムザック設立。2020年から現職。人と共存して現場で働くロボット“ワークロイド”の開発をミッションとし、実証実験に終わらせない産業としての構築に尽力している。

代表取締役社長 川久保 勇次（かわくぼ ゆうじ）

2005年、九州工業大学大学院博士後期課程を中退し、株式会社テムザックに入社。台湾現地法人テムザックフォルモサの代表（董事長）、テムザック執行役員などを経て、2020年に代表取締役社長に就任。

●株式会社村田製作所

執行役員 川島 誠

1987年金沢大学を卒業後、村田製作所に入社。高周波部品を担当後、2017年より機能デバイス事業部長。2022年より技術企画、新規事業推進統括部長、2023年より執行役員となり現在に至る。

●SRE ホールディングス株式会社

コンサルティング&テクノロジーソリューション事業本部 佐々木 啓文

コンサルティング&テクノロジーソリューション事業と新規事業の立ち上げを推進。製造業を中心に、AI・Robotics分野において新規事業立ち上げや各種改革に従事。

コンサルティング&テクノロジーソリューション事業本部 新村 仁

消費財・化学・重工業における事業戦略・マーケティング・ブランディングに加え、ロボット業界における新規事業やサービス立上げなどに従事。

■株式会社テムザックについて

人とロボットの共存社会を目指すサービスロボットメーカーです。医療、建築、パーソナルモビリティ、災害レスキューなど重労働や人手が足りない現場で、人に代わって活躍す

る多様な実用ロボット"WORKROID"（ワークロイド）を開発しつづけています。

■株式会社村田製作所について

ファンクショナルセラミックスをベースとした電子デバイスの研究開発・生産・販売。

「中期方針 2027」において、ロボティクス分野を含む先端技術領域への積極的な取り組みを掲げており、社会的課題の解決に資する技術の開発を通じて、持続可能な社会の構築に貢献していきます。

■SRE ホールディングス株式会社について

SRE ホールディングス株式会社はリアルビジネスの AI テクノロジー実装を通じ、蓄積した知見やデータを商品開発に活用しており、そこで実務有用性を磨き上げたプロダクト・DX ソリューションをヘルスケア・IT・不動産領域のお客様に提供しております。また、テクノロジーを保有している強みを活かして M&A や外部アライアンスも活用して他業種へ進出しております。今年度においては、「テクノロジーを用いて暮らしと医療をアップデートする」をスローガンに、少子高齢化という大きな社会課題を解決する、唯一無二のライフテックカンパニーとしてのポジション確立を目指します。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社テムザック 企画本部 広報

Email : tmsuk-pr@tmsuk.co.jp

SRE ホールディングス株式会社 企画管理部門 広報 IR 室

Email : sre-ir-all@sre-group.co.jp